



**消防団員の活動環境の  
充実と処遇改善などを決議**

**東北地区消防連絡協議会**

題 字  
初代会長 松野盛吉  
定 価 1部 5円  
(購読料は年会費に含む)

発行人  
〒010-0951  
秋田山王四丁目1番2号  
秋田地方総合庁舎内  
秋田県消防協会  
会長 中泉松之助  
電話 018-867-7320  
FAX 018-863-5910  
<http://www.shoubou-akita.or.jp>  
E-mail:ask@shoubou-akita.or.jp

印 刷  
〒010-0951  
秋田山王7丁目5-29  
株式会社 松原印刷社  
電話 018-862-8760  
<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>

平成二五年度東北地区消防連絡協議会は七月一日(木)、宮城県仙台市の「仙台ガーデンパレス」で、東北地区七県(新潟県を含む)の消防協会から会長、副会長、事務局員ら五三名が出席して開催されました。秋田県消防協会からは中田潤会長、草薙副会長、成田副会長、海野副会長など七名が参加しました。

連絡協議会では、前年度決議事項について山形県消防協会から処理報告が行われた後、議事に入り、各県から提出された要望事項などについて熱心に協議されました。消防団員確保のための事業所の優遇措置の関連では、中田潤会長が秋田県及び県内各市町村で実施している優遇措置等の状況について説明しました。

なお、協議の結果、要望事項四件は、それぞれ総務省消防庁、日本消防協会及び各県へ要望することとしました。

平成二十五年度全国統一防火標語  
**消すまでは 心の警報 ONのまま**

**前年度決議事項の処理報告**

一 女性消防団員の制服の統一及び制服等交付事業について

【日本消防協会】平成二二年度以降、従来の約八〇〇着を一、〇〇〇着に増加し、概ね交付申請数に対処しています。これは、既に入団し活動している既存定数の団員分を対象としておりませんが、支給対象を拡大するとすれば相当の財源が必要となり、現在の仕組みの中で大幅な増額をすることが可能かどうか、趣旨としての団員確保対策等の性格から苦慮せざるを得ないところです。

二 消防団員の確保に向けた消防団員の処遇改善について

【消防庁】消防団員の報酬及び出勤手当は、各市町村の条例で定めることとされており、総務省としては地方交付税措置しておりますが、全国的にみて交付税上の単価も示しつつ、金額の低い市町村においては、単価の引き上げを検討していた、大きくよう要請してきている。今後も市町村に

対して必要な要請を行うこととする。消防団員の確保については、処遇向上に加え、住民の消防団の理解を深めるためのシンポジウムの開催や、消防団に協力的な事業所を顕彰する事業等を実施してきている。

また、消防団活動に協力する事業所に対する法人事業税等の減税や消防団員に対する割引サービスなど地域ぐるみで消防団を応援する取組等を地方公共団体に紹介しており、消防団の入団促進に関する地方公共団体の自主的な取組が広まっていくことを期待している。

三 日本消防協会表彰の表彰区分の新設について

【日本消防協会】従来から日本消防協会は、災害発生時、支援金や非常食の交付によって支援しており、発災時の活動を理由とする表彰は行っておりません。日消の表彰は長期にわたる消防団活動に着目して行っており、新たな例を開くことはいいたしませんでしたが、今後、さまざまなケースを想定しながら、さらに検討する必要があると思えます。

要 望 事 項

全国女性消防操法大会及び全国女性消防団員活性化大会の休日開催について  
《福島県》

近年、女性消防隊(団)員も被雇用者が多く、平日の隊(団)活動に参加できる者は年々減少傾向にあります。

このような状況の中、全国女性消防操法大会及び全国女性消防団員活性化大会は平日開催であり、数日間の休暇が必要となるため、出場チーム編成や応援者の確保等の障害となっております。

また、活性化大会は全国各地区での開催であり、開催場所によっては更に日数を要することから参加者の確保が懸念されます。

つきましては、大会参加者等(出場者・応援者・家族)が休暇を取りやすく、かつ参加しやすくするため、祝日や土日を含めた休日開催を要望いたします。

消防団員服制基準の改正及び新たな活動服導入(更新)に伴う財政支援について  
《岩手県》

日本消防協会消防団活動服検討委員会にて検討を重ねてきた新たな活動服は、オレンジ色を多く配色し夜間

活動時等の視認性向上、ポケットの大きさや所属名の判りやすさに配慮された機能性やデザイン性に優れたものであります。

つきましては、各消防団で導入(更新)する際の根拠となる消防団員服制基準の改正について消防庁に具申されるよう要望いたします。

また、新たな活動服の導入(更新)には、多額の経費が必要であることから、更新等を行う市町村に対する財政支援を強く要望いたします。

消防団員確保のための消防団員雇用事業所に対する優遇措置の推進について  
《山形県》

住民社会の安心・安全に寄せる関心が極めて高いものになっており、



災害対応にあたる消防団員の任務はますます重要になるとともに、より一層大きな役割が期待されている中、地域の防災力確保

の要である消防団員は減少の一途をたどっている状況であります。

また、サラリーマン団員が増加するなか、消防団員の確保及び消防団活動には勤務先である事業所等の理解、協力が不可欠であります。

消防団協力事業所表示制度や優良事業所の知事表彰、入札参加資格審査における加点方式導入等、各自治体が優遇措置に取り組んでおりますが、協力事業所に対する法人事業税等の減税や表彰など新たな優遇措置制度の導入と推進を強く要望いたします。

【秋田県の実施状況】

■県関係

○優良事業所知事表彰

平成九年度から実施

○総合評価落札方式入札における優遇措置(加点方式)

平成二三年度から実施

■市町村関係

○五市(秋田市・由利本荘市・大仙市・横手市・大館市)におい

て県と同様の入札における優遇措置を実施

○能代市において報奨金を事業所に交付(一〇万円を上限とし、

団員一人当たり一万円)

○消防団協力事業所表示証実施要綱の制定(二五市町村中、藤里

町・八峰町・八郎潟町・井川町・

大潟村を除く二〇市町村で実施)

市町村非常勤消防団員退職報償金制度の支給基準について  
《宮城県》

昭和三九年度に消防団員の処遇改善措置の一環として創設された退職報償金制度の現在の支給基準は、勤務年数五年以上から五年毎に区分され三〇年以上と定められておりますが、自治体消防六五周年を迎え、幹部団員については四〇年或いは五〇年以上消防団員として勤務している現状であります。

つきましては、支給基準の勤務年数を「三〇年以上」で止めることなく、三五年以上、四〇年以上、四五年以上、五〇年以上と基準年数を引き上げ、永年勤続したその労苦に報いるため現状に適合した勤務年数・報償金に改正されますよう要望いたします。

講 演



議事終了後「消防人のメンタルヘルス等に関すること」と題して、元フジテレビアナウンサー松田朋恵氏による講演が行われました。

# 第九回 消 防 団 員 意見発表会(一)



千葉與右門  
五城市町消防団  
本部付分団長  
・勤続二十六年  
・会社員

青年会活動、学校教育活動、地域防災活動等に尽力されている。二六年間の消防団活動では、町の小型ポンプ操法大会で優勝三回、さらに支部大会でも優勝するなど輝かしい成績を挙げ、現在は、本部付分団長として、団員の指導育成に日夜奮闘されている。

## 「火点は前方の標的」

「火点は前方の標的」ご存知ポンプ操法大会の指揮者の想定付与です。消防団の使命は、「地域住民の生命と財産を守ること」と、団長の訓辞等で何回も耳にしてきました。この使命は、今後不変であり続けると思われませんが、消防団を取り巻く環境は年々変化しています。勤務先に依る団員の日中の空洞化や、取り分け人口減少に伴う団員数の不足及び高齢化など、今後の消防活動には様々な問題点が提起されています。地域住民の生命と財

産を守る使命を念頭に、抱えている問題を少しでも軽減して次の世代にバトンタッチする事も、今の消防団に課せられた重要な使命だと私は感じています。

消防団に課せられた崇高な使命を、今後消防団が維持し発展させるためには、今まで以上に地域住民と密着した活動が求められると思われ

ます。消防団の活動資金は、地域住民の協力に依存していますので、今後はその協力金を地域に還元していく活動と活動内容の宣伝を充実させることが重要だと思えます。災害時のパトロールや救助活動等が還元活動の一環ではありますが、ほかにも子供会行事に積載車を提供して運転席に座らせたり、筒先やホースに触れさせたり興味を持たせるとともに、親御さんには団員募集や活動の広報紙を配布したりすることも出来ると思われ

ます。また、消防団の活動内容については、消防関係者だけの共有にとどまらず、外に向かった情報の発信力が必要だと思えます。五城市町の場合は、町広報に町消防訓練大会の日程と大会結果は写真付きで掲載されますが、具体的な内容は掲載されません。そうであれば、消防団自体が組織だっ

て内容の広報紙配布や町のPRビデオに動画配信することも可能です。訓練大会には、地域住民を観衆として呼び込む企画をするとか、或いは地域住民が集まる全町運動会で規律訓練やポンプ操法を演習するなど、消防団自らが殻を破って積極的に外に発信する活動が肝要だと思

います。五城市町は、全人口に占める六五歳以上の高齢化率が四〇パーセントを超え、県内の市町村では三番目の高さです。高齢者の独り暮らしも年々増加しています。県の社会福祉協議会では地域の事情はその住民が最も把握しているという観点から、地域の生活弱者救済や防災安全は地域住民が対応する事業を推進しています。消防団もその事業組織に参画して、地域住民の生活基盤に密着したきめの細かいボランティア活動が必要になると思

いますし、先んじてその対応策を構築しておくことが必要だと考えます。東日本大震災で殉職された二五四名の消防団員の尊い命を教訓に、消防団員は災害救助活動において、「団員の命は自ら守る」との認識を深める必要があります。近年の多種多様な災害に対して、画一的な対応策は難しいにしても、災害救

助活動で団員の基本的な安全行動指針を確立していただきたいと思

います。恐らく多くの団員は、学んだ知識ではなく先輩団員の経験した体験談を基にした曖昧な個々の安全基準であると思われ

ますので、団員が危険を予知できるような防災教育を受ける場を提供していただけるように関係機関各位にお願い申し上げます。

「火点は前方の標的」これから進むべき明日の消防団活動を前方と捉えるならば、火点は正に取り組むべき問題点の意味として解釈することができると思

います。本日ご出席の消防団員の皆様は、居住する地域で様々な消防団活動を展開し活躍されていることと存じます。歴史と伝統に単にしがみつ

く消防団ではなく、洗練された組織として社会的にも新しく認知される消防団に変貌するには、消防団の全県単位でのネットワーク化を図り、活動内容の情報交換をして互いに知恵を出し合い、切磋琢磨しながら活動を展開することが、何よりも重要だと思

いますし、それが地域住民から信頼され求められる消防団の道筋だと確信しております。ご臨席の皆様、地域の無火災・無災害をご祈念申し上げて私の意見発表を終わります。



工藤 徳子

・秋田市消防団員  
・勤続二年  
・市役所臨時職員

東日本大震災を岩手県釜石市で経験、その後秋田市に移住。消防団活動に積極的に参加しており、応急手当指導員として講習会では心肺蘇生法やAED使用方法の普及啓発に貢献されるなど、女性消防団員の模範となっている。

「私は女性消防団員です」

一九八三年五月二六日、私は小学五年生で日本海中部地震に遭いました。

その二八年後の二〇一一年三月一日、今度は岩手県釜石市で東日本大震災に遭いました。私は、あの巨大津波に遭いながらも屋上に避難し難を逃れました。震災の翌日には大阪市消防局の何十台もの消防車が列をなし、サイレンを鳴らしながら釜石に来てくれました。私はその光景に感涙し、合掌しながら無数の消防車を見送りました。

それから数日間、私はとてもない虚無感に襲われました。なぜなら今まで散々地震を恐れ防災用品を準備してきた私が、人助けをしたい気持ちにはあっても実は、家族の役に立つ以外何も出来ないということに気づいてしまったからです。

秋田に帰って来て秋田市消防本部に就職できた時はとてもうれしかったです。それは、秋田と大阪で違うとはいえ、同じ消防職員の方々にあの時のお礼が出来る、皆さんの役に立つことが出来る、そう思えたからでした。

そんな時、秋田市消防本部に勤めていることもあつて消防団への勧誘を受けました。最初はこんなおぼさんが入って何が出来るのだろうと思いましたが、あの時、何もできなかったことを思いだし、チャンスだとも思いました。そして、私は秋田市女性消防団に入団しました。女性消防団員になって私にはやる事が二つ出来ました。

一つ目は、防火の観点から「ストップ、ドロップ&ロール(止まれ、倒れる、転がれ)」という、服に火が付いた時の対処法を子供たちに寸劇を通して伝えることでした。私はその中で服に火が付いてしまうという、おつちよこちよいなカエルの役をいただきました。カエルの着ぐるみを着て演技をするのはとても暑かったです。小さな子供たちにとってこの方法を教えることによって、一人でも多くの子供が救われるのかと思うと俄然やる気ができました。保育園や幼稚園に行つて教えてあげると子供たちは喜んで一緒にゴロゴロしてくれました。やり終わった後の爽快感はなんともいえない気持ちでした。この寸劇は昨年秋に秋田市で行われた

「全国女性消防団員活性化秋田大会」でも披露させていただきました。

二つ目は、応急処置を学び応急手当指導員になることでした。今までも普通救命講習は何回か受講したことがありましたが、いざ自分が教える立場になると話が違つてきます。一生懸命覚えめました。講習会に行くとう受講者の方々の真剣なまなざしに圧倒され、緊張しましたが勇気を振り絞り参加しました。講習会によっては女性の受講者が大半を占める場合もあり、講師となる男性消防士には聞きづらいことも、同じ女性の私には質問してくれることもありました。女性だから出来る会話もあるな、私の勉強不足のところや専門的なことは、一緒に隊員の方に質問していくことで、私自身も成長することが出来ました。

これからの私の目標は、今まで勉



強してきたこと、また体験してきたことをより多くの人に伝え、そして秋田市女性消防団の活動をもっと多くの人に知ってもらい、何かあった時には、「私は女性消防団員です」そう胸を張って言えるようになることです。



高原 一心

・由利本荘市消防団員  
・勤続一四年  
・会社員

生まれ育つた地域を災害から守るという強い使命を胸に消防団活動に励んでいる。

青年会議所での活躍も目覚ましく広く人望を集める魅力的な人物です。

「愛郷心あればこそ」

ただいまご紹介いただきました、由利本荘市消防団本荘支団の高原一心と申します。本日はこの秋田県消防大会におきまして、私の消防団活動への思いを発表する機会をいただきました。まして感謝を申し上げます。

さて、私が所属する本荘支団第五分団第七部がある山田町内は、その名のとおり山に囲まれ、水田の緑が美しい地域であります。私の一日は朝のランニングで始まるのですが、その際に目に入ってくる自然豊かな風景は大きな安らぎを与えてくれま

す。このような環境で育ち、地元を離れることなく現在に至っている私が消防団に入団したのは二五歳の時でした。突然の訪問を受けての勧誘でしたが、その場で承諾をしました。それまでも消防団が地域のために活動している姿はしばしば目にしていましたし、この地域で暮らしていく上で何らかの貢献をしていくべきだと思っただけであります。

入団して数年が経ち、パトロールや点検作業をはじめ、訓練大会への出場を通して知識と経験を積み重ねていたそんな時期に、地元で火災が発生しました。幸いにも住宅の母屋ではなく、物置小屋からの出火でした。駆け付けた時にはすでに消防署の方々によって消火作業が行われていました。どうしたら良いかわからず、消火作業をただ見ている状況の私に、近くにいた元団員の方から「消防団員なんだから防火服を着て来い」と助言をいただき、消防小屋に向かいました。その道すがら私は日ごろの訓練や点検作業が実際に役立つ場面があるのかと心のどこかで疑問を抱きながら、単なる作業として取り組んでいた今までの自分を省みしました。そして実際の現場でどう行動をするかという想定を平時にこそしておくべきだったと痛感をしました。この一件は、私の消防団活動への向き合い方を変えるところにも、この地域から二度と火災を発生させないという思いを強くする機会となりました。

りました。

私は先ほど、消防団が地域のために活動している姿を見ていたことを入団した理由の一つとして挙げましたが、団員数が減少している状況の中で、私達ができることは消防団活動に取り組みその背中を地域の方々や将来を担う子供たちに見せていくことだと思えます。活動をしていく上で、仕事や自分の時間を割かなければならない事もありますが、それを厭わず地域の安心と安全のために汗を流せるのは、地域を愛する心があればこそなのであります。

最後に、国内には約二、三〇〇の消防団がありますが、それぞれの地域で愛郷心を持つ人間が団員として活躍しています。同じ志を持つ仲間が今後益々増えていきます。ご祈念申し上げます。私の意見発表といたしまして、ご静聴ありがとうございます。どうぞごさいました。



舞台の袖で順番を待つ発表者の皆さん

**消防団一二〇年・**

**自治体消防六五周年記念大会**

「消防その愛と力」

平成二五年は、自治体消防発足から六五周年、同時に明治二七年消防組規則の制定により全国的に統一した消防組（消防団の前身）がスタートしてから一二〇年目にあたります。

この大会は、今日までの我が国消防の発展の道のりを振り返るとともに、消防関係者がより一層強い団結のもと、さらに精進を重ね、東日本大震災の教訓をいかして我が国の安全を守る消防団等の一層の充実・発展を目指し、決意を新たにします。

■開催日

平成二五年一月二五日(月) 午前一〇時から概ね二時間半

■開催場所

東京ドーム (東京都文京区)

■参加者

約三七、〇〇〇人

※秋田県からの参加者四六〇人

■大会内容

式典前 伝統消防演技

木遣り、纏振りなど

第一部 式典

第二部 消防実技

放水演技、救助演技など

第三部 消防の士気高揚

消防音楽隊演奏など

地域の防災、災害対策に貢献!

**消 防**  
ポンプ自動車  
小型ポンプ  
ホース

**設 備**  
火災報知器  
スプリンクラー  
消火器

**猿田興業株式会社**

秋田市山王六丁目1番24号 TEL018 (863) 1551(代)  
山王セントラルビル7F FAX018 (824) 3651

森田ポンプ ラビットポンプ  
桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式  
各種消火器 消防機器一式

株式会社 **協 立**  
株式会社 **能代消防センター**

〒016-0846 能代市栄町12の3  
TEL (0185) (52) 6361  
(52) 6494

## 第7期 初任教育

### あきた病院での 研修を終えて

秋田県消防学校

第六七期初任教育入校生は二班に分かれ、七月二日、九日の二日間にわたって由利本荘市岩城の「あきた病院」で研修を行いました。  
この研修の感想文が寄せられましたので紹介します。



佐藤 怜弥

秋田市消防本部

あきた病院での研修は、障がいのある方と接することによって、社会人、消防職員としての役割や心構えを醸成することを目的として行われたものでした。病院に到着してまず始めに、看護部長による看護倫理の講義がありました。その講義で気づいたことは、消防の活動と共通する点が多いということです。これから行うことを患者さんに伝える、自分がされたくないことは、患者さんに決して行わないなど、私達消防士が現場で傷病者に対する接し方そのものだと感じました。

次に実際に患者さんと触れ合う実習がありました。車椅子に患者さん

を乗せ、病院内を散歩したり、食事を観察したりしてみても、車椅子ひとつの扱いにしても、普段気にしないような傾斜や段差でも、患者さんにとっては大変なことだと気がつき、思いやりやコミュニケーションの重要性を感じました。

今回の病院研修を終え、自分が当たり前のように毎日生活していることに改めて考えさせられました。消防士として自覚を持ち、今回の経験を生かして今後の訓練、現場活動等に取り組んでいきたいです。



小野 剛

由利本荘市消防本部

私は、北1病棟で研修させていただきました。病棟では最初に担当の看護部長さんから、今回の活動についての説明を受けました。そのお話の中で、この病棟の患者さんは、ほとんどが入院からお亡くなりになるまで退院はしないということを聞きました。とても残酷で衝撃的な話に正直少し圧倒されました。一人の患者さんに一人のスタッフが付くという特殊なシステムである北1病棟では、私達の班も一人ずつバラバラにそれぞれの患者さんを担当しました。私が担当した方は、恥ずかしが

り屋なのか、最初は何をしても反応していただけませんでした。しかし、体操の時間に一緒に体を動かしてスキンシップをはかるうちに、少しずつ目を合わせていただけようになりました。昼ご飯の時間には、食事の補助と歯ブラシをしました。歯ブラシの時は、なかなか口を開けていただけで途中噛まれそうになりました。その時も、最後までやりました。その時の患者さんは始終笑顔でした。全日程が終了し、私達が帰るときは、私も笑顔だったと思います。



首藤 知脩

横手市消防本部

実習が始まる前に講義を受けました。看護師の皆さんは「5R」や「3回確認」など、この業が誰にどの位投与するかなど、何度も確認して失敗をしないようにしているというこ

とでした。また病院は社会からの信頼が不可欠で、小さなミスも許されない仕事で私達消防という職に似ていると感じました。

今回の実習で私は南1病棟を担当しました。自己紹介をした後に質問タイムがあり、色々な質問を受けました。言葉で一生涯懸命伝えようとしてくれたのですが、うまく聞き取れなくて困りました。しかし、表情や身振り手振りでなんとなく伝わってきて徐々に理解できるようになりました。次にサイコロジャンケンをやりました。私は患者さん達の補助をしました。補助した方たちの中には関節が固い人が何人かいて、骨折させないように注意してやりました。自分が思っている以上に固くて、車椅子に移すときも二人で気をつけて持ち上げました。全身が動かない人は本当に重く、自分達の手に直接重みが伝わってきて、実際の現場の傷病者の方たちはこのようなものかと思いました。

この実習で、人に言葉ではなく身振り手振りで自分が今何をしているのか、してほしいのかを伝えることの難しさ、一人一人の患者さんそれぞれへの対応の仕方など実際に経験してみないと分からない大変さというものを感じました。また人に対してもっと優しく接する事が出来るような気がしました。実習で学んだことをこれから役立てていきたいです。



伊東 省吾  
大館市消防本部

研修は3病棟で筋ジストロフィーの患者さんのお手伝いをする事になりました。患者さん一人に消防学校生一人が付き、会話や車椅子での散歩をしました。私は少しだけ患者さん達とコミュニケーションをスムーズにとれると思っていました。実際にはうまくいきませんでした。私が担当した患者さんは身体を自由に動かすことができなく、どうやら耳も少し不自由でしゃべれない人でした。そのような患者さんでもたまにですが、笑ってくれたり、声を出してくれて嬉しかったのですが、自分の力では何を意図しているのか理解することができませんでした。せっかく力を絞って発信してくれているのに、感じ取ることができませんでした。申し訳ない気持ちで悲しくなりました。本当に自分の力が無力だと感じました。救急等の現場では、このように自分を中々発信出来ない人や、傷などにによりそれができなくなった方々を相手にする場面があるかもしれませぬ。そのような時には、同じ失敗をせずに、この研修を生かし、どんな小さな情報でも感じとれるようになっていきたいです。



成田 聖仁  
北秋田市消防本部

あきた病院は主にASL、重症身体障がい、筋ジストロフィー、神経難病等の重度障がいの方々が入院する病院で、その障がいによって、三つの病棟に分かれていました。今回は自分是一般病棟の重症心身障がいの方を担当させていただきました。その方は身体を動かさず、言葉も喋ることが出来ない方でした。看護師の方から文字板を使って会話するということを知りましたが、喋ることの出来ない方との会話は始めてだったので正直不安でした。そんな不安な中で挨拶をしたところ、その方は笑顔で微笑んでくださいました。そのおかげで緊張や不安がなくなってきました、少々苦労しましたが、文字板を使つての会話も楽しむことが出来ました。その後は、車椅子と一緒に散歩したりして研修は終了してしまいましたが、今回の研修で自分がいかに幸せなのかということを感じることが出来ました。体を動かしたり、喋ったり、普段何気なく出来ていることが、決して全ての人達にとって当たり前前ではないということを感じ、不自由なく生きていられることに感謝して生活していきたいと思えます。



菊地 航平  
五城目町消防本部

私は北2病棟で研修を行いました。北2病棟は、重症心身障がい児という人達が入院しているところで、症状は体に重度の不自由と重度の知的障がいと一緒にしている状態のことをいいます。私の担当した人は、話の出来る人ですが、何度も声をかけるのですが、返ってくるのが少なく、うまくコミュニケーションを取ることが出来ませんでした。次は食事介助でしたが、その人の母親が来ていたことと別の人に代わりました。食べさせていると看護師のいる方に顔を向けたりして、なかなか食べさせるのに時間がかかってしまいました。食べさせることがこんなに大変なことだとは思っていませんでした。この研修で、改めてコミュニケーションを取る事の難しさを感じました。このような事を日々やっている看護師や医師の方達は本当にすごいと思えました。私達は二、三時間程度しか体験していかないのにとても疲れたのですが、さすがプロだなあと思いました。貴重な体験ができた変勉強になりました。今回の経験、体験を大切にしてこれからの消防人生を頑張っていきたいです。



佐藤 憂弥  
にかほ市消防本部

病院に到着して先ず看護についての一五項目の話を聞いた。看護の世界でも消防と同じように第何条第何項という規定があることが分かった。差別をしてはいけない、プライバシーは守るなど私達の職業とリンクしているところもあったと感じた。いよいよ重症患者が入院している南1病棟に入り実習を行った。病棟内はとても清潔に保たれていて患者さんにとっては過ごしやすい環境だと思った。私が付かせていただいたSさんは重症病患者の方の中でもコミュニケーションが取りやすい方だと担当の人から聞き少し安心した。しかし初対面ということもあったのか私が話しかけてもなかなか反応してもらえませんでした。何回も何回も話しかけていたうちに、しっかりと私の顔を見て反応を示し、また、トイレや食事の世話をしながら実習を終る頃には笑顔を見せてくれた。私はこの研修で、いつもは気にしないところに目がいたり、相手の伝えたいことを受け取るために様々な工夫をすることが出来た。また、思いやりの心を持ち接する事が大切だと思った。

支部情報アラカルト

支部消防競技大会の開催

能代市山本郡支部

このほど能代市山本郡消防競技大会が能代港下浜岸壁埠頭で行われ、各市町の大会で上位の成績を収めた分団が出場しました。

途中、局地的な豪雨に見舞われ競技の中断もありましたが、規律訓練の部七隊、ポンプ車操法の部八隊、小型ポンプ操法の部一九隊が出場、日頃の訓練の成果を遺憾なく発揮しました。

指揮者の号令のもと一糸乱れぬ規律訓練、

そしてスピードと技を競う操法訓練と、会場は各分団の名譽をかけた熱気に溢れるものとなりました。会場には団員の家族も訪れ、大きな



な声援を送っていました。その様子から改めて消防団は地域、家族と密着していると強く感じました。

また、注目分団の訓練実施の際には、会場が静まりかえり、一点集中といった特別な緊張感が会場を包みました。

その卓越した技能には、常に郡市大会上位入賞を続ける伝統の強さを感じました。

大会の結果、ポンプ車操法は三種町消防団琴丘支団第一分団、小型ポンプ操法は八峰町消防団第五分団が第一位となり、全県大会出場を獲りました。

活躍をご期待しています。(情報提供 能代市山本郡支部)

火災の発生状況 (速報値)

(秋田県総合防災課調べ)

Table with 8 columns: Category, Heisei 25 (July, Total), Heisei 24 (July, Total, Annual), Comparison (July, Total). Rows include Building, Forest, Vehicle, Other, Total, Deaths, Injuries.

第50回 秋田県消防操法大会開催のお知らせ

秋田県と秋田県消防協会は、消防団員の消防技術の向上や士気の高揚、消防活動の充実強化を図るため、秋田県消防操法大会を開催します。

出場隊は各支部の予選を勝ち抜いてきた精鋭隊ですので、熱戦が期待されます。

多くの方々の観戦をお待ちしております。

競技種目 小型ポンプ操法、ポンプ車操法
開催月日 平成25年9月6日(金) 午前10時から
開催場所 由利本荘市岩城 「秋田県消防学校 放水訓練場」

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ
消防被服全般
秋田県代理店

株式会社 高義商会

- (営業種目) トーハツ小型動力ポンプ
モリタ自動車ポンプ
ジェットホース
消防被服全般
火災報知器各種
消火器各種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32 Ⅱ(0183)(42)2125
〒012-0844 湯沢市田町 Ⅱ(0183)(73)2588

株式会社 夕カギ

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182)(32)3880

(営業種目)

- 日本機械自動車ポンプ
トーハツポンプ
各種消防機械器具
消防設備保守点検
キンパイホース
シバウラポンプ
各種消火器

ホームページ http://www.17.ocn.ne.jp/~takagi/
E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp